



### 2015年をむかえて

皆様、あけましておめでとうございます。無事に新年を迎えることができました。2014年を振り返りながら、2015年の夢を紹介してみたいと思います。2014年は常勤医の増加、地域連携室の増員などより、充実した活動を行うことができました。在宅（自宅＋介護施設）での看取りは232人、病院にお願いした看取りは42人、合計274人のお別れに関わることができました。2014年12月は、29人の在宅看取りと、クリニック開設以来最も多い在宅看取りとなりました。私1人では、たぶんに身体を壊していたことでしょう。月曜から土曜日まで、私以外の医師が交代で夜間を担当する体制が整っていることが、継続性を持って診療にあたることのできる理由と考えています。また地域連携室の活躍により、12月は新規の訪問が31件と過去最高の実績となりました。とはいえ、数年後にこのコラムを読み直すとき、2014年の12月には、まだ月の新規訪問が30件程度で、月の在宅看取りが30人に満たなかったと懐かしく思うような気がしてなりません。時代は、多死時代に向けて徐々に加速しているように感じます。この思いを意識しながら2015年の夢を紹介したいと思います。

#### 1. 診療の充実

在宅緩和ケアを学びたいという医師が集うクリニックとして、4月には常勤医師が3名増え、常勤医6名、非常勤医師6名体制となります。ただ診療にあたるだけでなく、患者さん・家族から何を学ぶのかを意識した振り返りを大切に、特に“存在と生きる意味を支える援助”の可能性を探っていきたく思います。嬉しいことに、クリニックの周囲には24時間対応の訪問看護ステーションが64箇所以上点在し、どんなに困難な患者さん・家族であったとしてもすぐに対応することができます。また、志のあるケアマネ、訪問介護、訪問入浴との連携があります。そして、麻薬を含めた緊急対応をして頂ける薬局があります。また横浜産生病院をはじめ病院との連携も良好です。2015年は充実した診療体制のもと、救急病院の負担を軽減できるよう、3次在宅緩和ケアクリニックとしての実績を積んでいきたく思います。

#### 2. 人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクト（JSP）

医療政策のプロである田口空一郎さんの協力の下、2025年問題への布石として人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクトを現実のものとする予定です。まだ青写真の段階ですが、今年中に形にしてみたいと思います。全国に5400箇所ある地域包括ケアの全てに、JSP養成講座を卒業した人が活躍することを夢見しています。

#### 3. グリーフケア

めぐみ在宅クリニックの特徴の1つにグリーフケアの活動があります。毎月第2水曜日の午前にグリーフケアカウンセラーが、わかちあいの会をサポートしています。2015年はさらに活動の幅を広げ、グリーフケアに関する啓発やサポート、研修会なども企画していきたく思います。

#### 4. デイグニティセラピー

2014年はデイグニティセラピーを26例行うことができました。デイグニティセラピーは、本人のケアのみならず家族ケアとしても大きな意味

を持つことは明らかです。これからも積極的にデイグニティセラピーを実施するだけでなく、関心を寄せる事業所に、クリニックでの経験を伝える企画も進めていきたいと思っています。

#### 5. NST

今まであまり紹介する機会がありませんでしたが、クリニックの非常勤医師で栄養学を専門にする太田先生が定期的にNSTの勉強会を毎月第2木曜日の昼に開催してきました。栄養評価、誤嚥を最小限にするための食事形態についてなど、内容の濃いテーマを取り上げてきました。2015年は、この経験を活かして、在宅における栄養の評価と、栄養士の活動を含む積極的な介入を意識した活動に取り組んで行きたいと思っています。

#### 6. 啓発活動

これは人生の最終段階に対応できる人材育成プロジェクト（JSP）の一環としてもよいのですが、今年は、本を2冊書いてみたいと夢見しています。1冊は人生の最終段階に対応できる人材養成講座のテキスト、もう1冊は、一般市民向けの啓発の本。まとまった時間をつくるのが難しいのですが、津山先生と門田先生の好意により冬休みを頂き、4泊5日、離島にこもり、本を書き上げてみたいと思います。また、地域緩和ケア研究会をこれからも継続して開催し、在宅緩和ケアを学びたい人を育てて行きたいと思いません。昨年7月に開催したスピリチュアルケアの学習会である小澤ゼミを7月25日（土）26日（日）に今年も予定します。地域緩和ケア研究会に参加が難しい地方の人との交流を大切にしたいと考えています。

#### 7. ホームページリニューアルとフェイスブックの活用

今はソーシャルネットワークの時代であり、インターネットを用いた情報発信は大切です。今年はクリニックのホームページをリニューアルします。また、諸活動はホームページとフェイスブックにて、その都度更新して行く予定です。

#### 8. 院長の心身の健康維持

今月末で52歳を迎えます。この年になって、これだけ夢を語れることは幸せなことと感謝です。その一方で、健康維持のため、心がけていることがジョギングです。おおよそ毎月100kmを目標に走ってきました。今年も、いろいろな意味で走り続けることができるように、心身共に鍛えていきたく思います。（小澤竹俊）

### 診療実績

	2006-2013年	2014年1~8月	2014年9月	2014年10月	2014年11月	2014年12月	2014年計	総計
訪問回数	26,421	3,867	616	576	549	627	6,235	32,656
自宅永眠	1,087	126	23	16	9	25	199	1,286
施設永眠	96	20	4	2	3	4	33	129
在宅(自宅+施設)	1,183	146	27	18	12	29	232	1,415
病院永眠	288	24	4	6	3	5	42	330